

一般助成

3年目

知識の提供・普及啓発

「地域主導型」 四国(志国)創生・地エネ利活用 プロジェクト



実証エネルギー機器と設置組み立て風景

地域自然エネルギーの小型機器による実証と環境気象の測定数

20回

対象地域行政への政策提言・提案の提出数

5件

活動の全体目標に対する達成度

100%

課題

四国地域における協働連携ネットワークの確立と「地域主導型+地エネ利活用」した活動推進で、地域の潜在的活力を取り戻す地域環境の活性化と地域振興再生課題解決の実証提案。

目標

地域主導型による地産地消型の地域資源を活用した市民参加協働スタイルの発電システムの構築によって、四国地域における地域性を活かした特有の自然力を活用した地域分散型エネルギーモデルプランの構築と提案。

活動内容

四国各地域での「地域主導型」による地産地消型地域資源を活用した市民参加協働スタイルの自立型小規模発電システムの構築に向けたネットワーク確立、現地実証測定+環境気象測定による地域社会的な拡充と効果試算。分析による自然エネルギープランのシュミレーションデータでの再生可能エネルギー計画提案と運営実施に向けての地域協働WSと研修会の開催。地域協働連携による担当行政への地域エネルギー活用提案の実施。



研修風景

達成できなかったこと

地エネ利活用の成果を地域振興に繋げるための地域住民、地域主体の自然エネルギー事業化では、今後の活動推進への広域的な地域住民への認識向上が鈍いという現実を確認。

今後の展望

地域環境と地域振興につながる自立分散型マイクログリッド市民発電所の構築のための普及と実践。

成果と工夫したポイント



成果

今回のプロジェクトによって、連携する25団体8企業と「地域主導型」による地エネ利活用による地域づくりの意識が高まり、地域毎に似合う自立協働発電システムの構築組織も3地区で組織され動き始めている。

工夫

地エネ活用普及における設備として「電気の見える化」計測システムの開発と小型水力発電機を自作した。